

情報発信やマニュアル作成など

会長 浦野 正美

1) COVID-19専用HP開設

COVID-19に関しては、行政機関、日本医師会、各学会、マスコミなどから日々情報が発信されていたため、新潟市医師会広報ウェブサイト内に、2020年3月26日にコロナ関連お知らせ情報として専用コーナーを開設した。内容は項目別に分類し、キーワードで検索可能にし、一覧表示できる機能も追加することにより、効率的な情報の閲覧を可能とした。

各記事には必要に応じて引用先のリンクを設け、重要な文書はPDF化して掲載し、ダウンロード可能とした。また、随時、会員からの質問も受けられるように専用の投稿フォームも作成し、合計89件の問い合わせがあった。会員からの問い合わせに関してはなるべく、その日に回答するようにした。HPの管理は主に会長が行った。

2) 各種マニュアル作成

①診療所における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

2020年3月の時点で、診療所向けのマニュアルはほとんどなかったため、各領域から資料を集め、感染症専門家、保健所などの指導も受けて会長が作成し公開した。5月15日にまでに3回の改訂を行った。

②新潟市急患診療センターにおける新型コロナウイルス感染症対策マニュアル

新潟市急患診療センターにおいても早急な対応を求められたため、山添センター長が中心となり、感染症対策マニュアルを作成した。

③新型コロナウイルス感染症に対応した学校健診実施要項

新型コロナの感染に伴い、学校健診にも特別の配慮が求められた。現場の混乱を避けるために佐藤、白柏、大滝理事が中心になって令和2年度新潟市学校健診実施要項を作成した。

3) マスコミ対応

マスコミからの問い合わせに対しては医師会に申し込みがあったものに対しては、会長が内容に応じて対応する役員を選定して、取材に応じてもらった。

4) 情報収集と伝達方法

情報収集は日本医師会、各学会、行政からの通達文書、メディアアクセス、会員へのアンケートなどで行い、会員への伝達はオンライン研修会・意見交換会・オリエンテーションの開催や、専用HPやメール、FAXなどで行った。

①会員へのアンケート施行

2020年4月30日にFAX、メールにより第1回目のアンケート調査を実施し、2021年6月までに合計7回行った。回答はFAX、メールの他にグーグルフォームを用いた方法も併用した。結果については、文書で配布すると共にHPにも掲載した。内容はCOVID-19への対応状況、診療・検査医療機関への登録、自宅・宿泊療養への協力、ワクチン接種への参加意向調査などである。

②COVID-19研修会

2020年6月15日に当会主催のZoomを使ったオンライン研修会を開催した。2022年2月28日までに合計4回の研修会を開催し、意見交換も行った。内容は新型コロナの感染対策・検査方法、診療報酬算定方法などである。また、2021年5月28日から2022年10月3日までに合計7回の自宅療養担当者を中心としたオリエンテーションも開催した。

③紙媒体による情報伝達

会員の中にはHPやメール閲覧に慣れていない方々もおられるという意見から、5類移行までに、新型コロナワクチン通信を52回、新型コロナ感染症通信を12回、A4のFAX用紙の形式でも発行した。